

千葉市小・中・中等教育・特別支援学校20年経験者研修実施要項

千葉市教育委員会

1 目的

この研修は、教育公務員特例法第21条の2に基づき、教員の経験に応じて実施する体系的な研修の一環として、一定の教職経験年限を経た全教員を対象に、教職経験と職能に応じて新たな知見を得させ、自己の活性化と指導力の向上を図ることを目的とする。

2 研修の対象（別表1）

研修の対象者は、千葉市教育委員会（以下、「教育委員会」という。）の所管する小・中・中等教育・特別支援学校の教員で、教育公務員特例法第2条の2に規定される教員のうち、教諭及び養護教諭とし、このうち「一定の教職経験年限を経た全教員」（別表1にあるとおり）とする。

3 対象の報告

- (1) 教育委員会は、小・中・中等教育・特別支援学校の校長に対して、対象者の有無について調査を行う。
- (2) 各校の校長は、対象者の有無について調査し、別紙6により教育委員会に報告する。

4 受講者の決定

千葉市小・中・中等教育・特別支援学校20年経験者研修は、当該年度に受講することを原則とし、校長の報告に基づき教育委員会が決定する。ただし研修対象者に特別な事情等のある場合は、当該校長と教育委員会との間で協議のうえ、決定するものとする。

5 研修のねらい、研修内容及び実施回数（別表2）

千葉市小・中・中等教育・特別支援学校20年経験者研修のねらい、研修内容、実施回数は別表2のとおりとする。研修方法については研修参加者の実情を考慮し設定する。

（別表1）

対 象 者（必須）	対 象 者（希望）
教職経験20年を終了した21年目の全教員	教職経験18年を終了した19年目の希望者 教職経験19年を終了した20年目の希望者

注1；中途採用者は、採用された年度を含めて経験年数とする。

注2；過年度において、学校の事情、特別休暇等により受講できなかった者を含む。

（別表2）

ね ら い	研 修 内 容	実施回数
学校経営、教育課程の編成、校内研修の推進についての認識を深めるとともに、豊かな企画力と指導力の育成を図る。	校内研修、指導案検討等における指導、学校における経営学に関する研修	3回